

2020年度 事業計画

(一財) 長岡花火財団

1 基本方針

当財団は、長岡花火の価値を「守り・伝え・高める」活動を展開し、市民の誇り・長岡花火を次世代につなぎ、市の魅力を高めるけん引役を担う組織として活動します。

また、大規模化した花火大会のリスク管理体制の強化をはじめ、年間を通じた長岡花火のプロモーションを積極的に推進するとともに、中期経営計画に沿った財務運用を行い、組織基盤を確立していきます。

2 2020年度の重点的な取り組み

(1) 長岡まつり大花火大会の企画・運営

2020年は、戦後75年の節目の年であり、かつ東京オリンピック開催期間中の実施となることから、「世界平和へのメッセージ」を込めた花火大会とします。

また、外国人観光客の増加が明らかであるため、案内誘導やおもてなしなど、受け入れ体制を強化します。

さらに、警備方法や設営物を精査し、安全面を向上させるとともに、長岡煙火協会と連携して、花火プログラムの充実を図るなど、官民一体となった事業運営を行います。

(2) 長岡の誇りを伝える活動

市民をはじめ、未来を担う子どもたちへ「長岡花火」に込められた様々な想いを伝える機会や拠点を創出し、長岡花火への理解を深めてもらうことで、長岡に「誇り・愛着」を持てるよう活動を展開します。

また、長岡花火に関わるボランティアの育成にも取り組みます。

(3) 長岡花火ブランドの全国・世界発信

長岡花火ブランドの価値を高め、広めるプロモーション活動を国内外問わず積極的に実施します。また、年間をとおして「花火のまち・長岡」を感じ、訪れてもらえるよう各種事業に取り組みます。

(4) 組織力の強化

長岡花火を応援する企業・団体との連携をさらに深め、新たな財源確保や財政負担の軽減を図るとともに、不測の事態に備える「災害等対策基金」への積み立て、組織の継続性や優れた人材を養成する活動を行い、安定的な組織運営を目指します。

3 主な事業計画

◆長岡まつり大花火大会の企画・運営

(1) 花火プログラムの充実

- ・フェニックス花火や名物花火、スターメイン等大型花火のさらなる深化。
- ・花火アナウンス時間の見直し等、プログラムのさらなる充実。

(2) 安全対策の充実

- ・警備体制や資器材配置等を再精査し、安全、かつ、効率的な警備を実施。

(3) 有料観覧席・観覧環境の見直し

- ・不正転売に向けた、新たなチケット販売の実施。
- ・安全対策を考慮した有料観覧席の拡大。
- ・有料観覧席の金額設定の見直し

(4) 外国人観光客の受け入れ体制の充実

- ・通訳ボランティアおける、語学堪能な留学生や市職員(案内誘導員)の活用。
- ・指さし会話シート、翻訳機器等の有効利用。

(5) 迷惑駐車対策

- ・「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」の拡充(駐車場拡大、迷惑駐車対策)。

◆長岡の誇りを伝える活動

(1) 学校等への訪問活動、米百俵未来塾での啓蒙活動の充実

- ・長岡花火の歴史・想いを子どもたちへ伝えるための学校への訪問活動。
- ・長岡市米百俵財団主催の「米百俵未来塾」に参画し、長岡花火をとおして、ふるさと長岡に誇りと自信を持てる人材を育成。
- ・企業・団体等、成人向けの講演、講義を積極的に実施。

(2) 長岡花火に関するボランティア活動を通じた人材育成

- ・長岡花火の普及・啓発活動や会場設営等を通じ、長岡花火に関わるボランティアの育成(国際ボランティア協会、長岡青年会議所等との連携等)。

(3) 長岡花火ブランドの発信拠点「道の駅ながおか花火館」

- ・「道の駅ながおか花火館」を長岡花火発信拠点として位置付け、施設管理者と連携・協力したPR事業を展開。

◆長岡花火ブランドの全国・世界発信

(1) 長岡米百俵フェス

- ・音楽フェスとコラボして実施。秋の風物詩として定着を図る。
- ・開催時期：2020年10月10日、11日（予定）
- ・会場：東山ファミリーランド

(2) 長岡花火ウインターファンタジー

- ・長岡の冬の観光資源として定着させ、全国への発信、誘客促進を図る。
- ・開催時期：2020年12月上旬 会場：国営越後丘陵公園

(3) 長岡雪しか祭り

- ・長岡雪しか祭り実行委員会に参画し、長岡花火を発信。
- ・開催時期：2021年2月中旬 会場：千秋が原ふるさとの森

(4) ホノルルフェスティバルにおける長岡花火の打ち上げ

- ・姉妹都市ホノルル市のホノルルフェスティバルでの長岡花火打ち上げ。
- ・海外発信の拠点事業。本市への誘客やビジネス交流へ展開。
- ・開催時期：2021年3月中旬 ※打ち上げはフェスティバル最終日。
- ・会場：ハワイ州ホノルル市ワイキキビーチ

(5) 観光インバウンド（訪日外国人誘客）の推進

- ・市、長岡観光コンベンション協会、県等と連携した、「長岡花火」を核とするインバウンド向け観光ルートの設定や商品化。

(6) 長岡花火打上サポート制度

- ・合併各地域における、長岡花火の発信や想いを伝えるイベント等に対し支援。

(7) 知的財産権の利活用および制度化に向けた検討

- ・長岡花火ブランドを守り、高めるため、「長岡花火」の商標権取得を戦略的に推進（長岡花火の知名度向上、公式グッズの制作）。

(8) 若年層への訴求

- ・若年層の来場率減少や総体的な人口減が進む中、永続的に花火大会を実施していくため、若い世代に向けたプロモーション活動を戦略的に展開。

(9) 長岡花火のさらなる深化

- ・変化する社会環境にあわせ、打ち上げにかかる技術面の課題を専門家（産官学）等と共有し、将来に向けた新たな花火の研究開発を進め、他の花火大会との差別化と長岡花火の更なる飛躍をめざす。

◆組織力の強化

(1) 保険加入（事故リスクへの対応）

- ・大規模花火大会に対応した損害賠償保険。
（賠償責任保険限度額：1事故10億円）
- ・花火大会の中止・延期に備えた興業中止保険。
（賠償責任保険限度額：中止・延期を含め、9億8千万円）
- ・役員賠償責任保険団体制度。
（補償限度額 1億円）
- ・煙火消費が原因による人的・物的損害に対応する煙火消費保険。
（対人・対物 1事故8億円 免責10万円）

(2) 災害等リスク対応

- ・不測の事態に備えた「災害等対策基金」への積み立て。

(3) 自主財源の確保、財政負担の軽減

- ・「オフィシャルパートナー協定」の推進による、サービスの享受に伴う負担軽減、並びにクラウドファンディングによる財源確保等により経営基盤を強化。

(4) 人材の育成

- ・財団事業の確実な実施と運営の継続性を図るため、必要な人材の確保及び育成。

(5) 中期経営計画に沿った組織財務の運用

- ・中期的な組織運営の指針である「中期経営計画」に基づいた財務運営、ガバナンス強化を実施。

収支予算書(収支)

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[10,000]	[10,000]	[0]
基本財産受取利息	10,000	10,000	0
特定資産運用収入	[3,000]	[3,000]	[0]
特定資産受取利息	3,000	3,000	0
事業収入	[528,859,000]	[595,300,000]	[△ 66,441,000]
観覧席販売収入	485,512,000	523,500,000	△ 37,988,000
駐車場協力金収入	13,382,000	16,000,000	△ 2,618,000
各種販売収入	8,200,000	11,200,000	△ 3,000,000
各種賦課金収入	765,000	1,100,000	△ 335,000
業務委託料収入	21,000,000	43,500,000	△ 22,500,000
補助金等収入	[57,470,000]	[57,470,000]	[0]
長岡市派遣職員人件費補助金収入	57,470,000	57,470,000	0
寄付金収入	[680,000]	[1,200,000]	[△ 520,000]
寄付金収入	680,000	1,200,000	△ 520,000
協賛金収入	[248,206,000]	[245,400,000]	[2,806,000]
現金協賛金収入	48,500,000	55,000,000	△ 6,500,000
広告協賛金収入	800,000	1,100,000	△ 300,000
花火協賛金収入	182,406,000	176,600,000	5,806,000
フェニックス花火協賛金収入	10,000,000	10,500,000	△ 500,000
その他協賛金収入	6,500,000	2,200,000	4,300,000
雑収入	[305,000]	[4,203,000]	[△ 3,898,000]
受取利息収入	2,000	3,000	△ 1,000
雑収入	303,000	4,200,000	△ 3,897,000
事業活動収入計	835,533,000	903,586,000	△ 68,053,000
2. 事業活動支出			
大会運営事業費支出	[699,112,000]	[640,200,000]	[58,912,000]
花火打上事業費支出	204,292,000	195,000,000	9,292,000
会場設営事業費支出	264,112,000	238,500,000	25,612,000
安全対策事業費支出	99,578,000	85,000,000	14,578,000
交通対策事業費支出	41,600,000	35,000,000	6,600,000
観覧席販売事業費支出	53,574,000	50,000,000	3,574,000
寄付懇請事業費支出	10,956,000	11,000,000	△ 44,000
受入体制強化事業費支出	25,000,000	25,700,000	△ 700,000
普及啓発事業費支出	[4,100,000]	[6,000,000]	[△ 1,900,000]
普及啓発イベント事業費支出	1,500,000	3,200,000	△ 1,700,000
伝承活動事業費支出	2,600,000	2,800,000	△ 200,000
ブランド発信事業費支出	[87,621,000]	[110,600,000]	[△ 22,979,000]
情報発信事業費支出	27,692,000	28,300,000	△ 608,000
海外発信事業費支出	6,560,000	46,000,000	△ 39,440,000
情報発信拠点事業費支出	6,500,000	4,500,000	2,000,000
長岡花火打上プロモーション事業費支出	46,869,000	31,800,000	15,069,000
その他プロモーション事業費支出	[9,303,000]	[13,200,000]	[△ 3,897,000]
その他プロモーション事業費支出	9,303,000	13,200,000	△ 3,897,000
管理費支出	[99,587,000]	[114,850,000]	[△ 15,263,000]
人件費支出	71,370,000	69,000,000	2,370,000
施設費支出	12,661,000	13,500,000	△ 839,000
その他管理費支出	15,556,000	32,350,000	△ 16,794,000
事業活動支出計	899,723,000	884,850,000	14,873,000
事業活動収支差額	△ 64,190,000	18,736,000	△ 82,926,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	[25,000,000]	[0]	[25,000,000]
投資活動収入計	25,000,000	0	25,000,000
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	25,000,000	0	25,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 39,190,000	18,736,000	△ 57,926,000
前期繰越収支差額	43,786,139	25,050,139	18,736,000
次期繰越収支差額	4,596,139	43,786,139	△ 39,190,000